

吉備国際大学文化財総合研究センター研究員業績リスト

(2007年1月1日－2007年12月31日)

研究員は50音順で研究活動歴は次のように分類した。

- I 著訳書；著書の名称、単・共著の別、担当頁、発行年月日、発行所
- II 学術論文；論文の名称、単・共著の別、発表雑誌の名称、巻・号、掲載頁、発行年月日
- III その他（学会発表・修復実績・図録執筆等）

臼井 洋輔（うすい ようすけ）

I 著訳書

- 1) 「フィンランドの光と影『フィンランド・ロシア訪問報告書』」、pp.16～25、2007年3月13日、福武文化振興財団
- 2) 「謎を秘めた古代ビーズ再現」、単、pp.1～136、2007年3月25日、吉備人出版
- 3) 「図説・日本刀大全」、単、pp.18～19、2007年4月1日、学研
- 4) 「水谷勝隆と玉島経営」、単、pp.1～36、2007年11月23日、高梁商工会議所

II 学術論文

- 1) 「ランユー鳥の変貌」、単、国際社会学研究所紀要、14号、pp.1～62、2007年3月31日
- 2) 「特殊器台透かし文様起源に関する研究」、単、文化財情報学研究、第4号、pp.73～121、2007年3月31日

III その他

(研究発表・その他)

- 1) 「日本経済新聞文化欄」『神秘の美 古代ビーズ再現』2007年4月13日
- 2) 「日本材料学会中国支部総会特別講演」『原材料の純粋性と作品レベルの不一致』2007年5月11日、岡山大学
- 3) 「文化財技術文化史的研究」、共、2007年12月1日、吉備国際大学・学術フロンティアシンポジウム『学術フロンティア推進事業のこれまでとこれから』、キャンパスイノベーションセンター東京地区国際会議場
- 4) 「総合討論」、共、2007年12月1日、吉備国際大学・学術フロンティアシンポジウム『学術フロンティア事業のこれまでとこれから』、キャンパスイノベーションセンター東京地区国際会議場

大原 秀之（おおはら ひでゆき）

III その他

(研究発表)

- 1) 「紙製張り子額について」、共、2007年6月16日、第29回文化財保存修復学会、静岡市民文化会館、
- 2) 「総合討論」、共、2007年12月1日、吉備国際大学・学術フロンティアシンポジウム『学術フロンティア事業のこれまでとこれから』、キャンパスイノベーションセンター東京地区国際会議場

地区国際会議場

(修復実績) ; 名称、単独・共同修復の別、修復期間、依頼機関

- 1) 油彩画修復、児島虎次郎「男の裸像」、2007年6月～12月、成羽町美術館
- 2) 油彩画修復、児島虎次郎「鸚鵡と少女」、2007年6月～12月、成羽町美術館
- 3) 油彩画修復、児島虎次郎「農夫」、2007年6月～12月、成羽町美術館
- 4) 油彩画修復、坂田一男「坐る女Ⅲ」、2007年6月～9月、岡山県立美術館
- 5) 油彩画修復、坂田一男「コンポジション」、2007年6月～9月、岡山県立美術館
- 6) 油彩画修復、坂田一男「作品」、2007年6月～9月、岡山県立美術館
- 7) 油彩画修復、坂田一男「坐る女Ⅲ」、2007年6月～12月、個人蔵
- 8) 油彩画修復、桑山タダスキー「円D138」、2007年9月～12月、高松市美術館
- 9) 立体作品修復、若林奮「振動尺試作Ⅲ」、2007年9月～12月、高松市美術館
- 10) 立体作品修復、森村泰昌「ボデゴン」、2007年9月～12月、高松市美術館

(展覧会)

- 1) 児島虎次郎展—紙製張子額の謎にせまる—、2007年12月1日～12月24日、加計美術館
(岡山県倉敷市)

(展覧会コンサヴァター)

- 1) ダリ展—創造する多面体—、
2007年3月8日～5月6日、サントリーミュージアム [天保山]
2007年5月12日～7月11日、名古屋市美術館
2007年7月21日～9月6日、北海道立近代美術館
- 2) モジリアーニと妻ジャンヌの物語展、
2007年4月7日～6月3日、Bunkamuraザ・ミュージアム
2007年6月9日～8月5日、札幌芸術の森美術館
2007年8月29日～9月24日、大丸ミュージアム・梅田
2007年9月29日～11月5日、島根県立美術館
2007年11月10日～12月16日、山口県立美術館
- 3) フィラデルフィア美術館展—印象派と20世紀の美術—
2007年7月14日～9月24日、京都市美術館
2007年10月10日～12月24日、東京都美術館

(ラジオ出演)

- 1) RSK山陽放送「吉備国まるごとゼミナール」、2007年12月15日 (放送)
- 2) RSK山陽放送「吉備国まるごとゼミナール」、2007年12月22日 (放送)

下山 進 (しもやま すずむ)

I 著訳書

- 1) 「鳥居清長作品に使用された着色料の非破壊分析調査」、単、図録「江戸のビーナス誕生—鳥居清長—」展、pp.12-23 (2007) (千葉市美術館) 平成19年4月28日.
- 2) 「浮世絵版画の色材分析から化粧品開発へ—文化財から得られた科学情報を現代に活かす—」、単、(社団法人 科学技術と経済の会) 2007年8月25日.

II 学術論文

- 1) 「浮世絵版画に見られる青」、単、文化財情報学研究、第4号、pp.47-55 (2006) (吉備国際大学文化財総合研究センター) 平成19年3月31日。

III その他

(研究発表)

- 1) 「Non-Destructive Analysis of Pigments and Dyestuffs in Asian Arts」、単、*Art Pearls in Taiwan - International Conference of Painting Conservation*, (Tainan National University of the Arts 国立台南芸術大学) 2007. 1. 23-25.
- 2) 「修復依頼作品“木戸孝允肖像画”からわかること—吉備国際大学 文化財総合研究センター事業の一成果—」、共、岡山理科大学OUSフォーラム2007、(岡山理科大学) 2007年11月22日。
- 3) 「文化財科学調査研究、学術フロンティア推進事業のこれまでとこれから—文化財科学調査研究の“これまで”と“これから”」、共、吉備国際大学 学術フロンティアシンポジウム (東京) (吉備国際大学 文化財総合研究センター) 2007年12月1日。
- 4) 「総合討論」、共、2007年12月1日、吉備国際大学・学術フロンティアシンポジウム『学術フロンティア事業のこれまでとこれから』、キャンパスイノベーションセンター東京地区国際会議場

(学術講演)

- 1) 「文化財の非破壊分析—浮世絵版画の色材分析から化粧品開発へ—」、単、技術経営会議第67回箱根本会議 (神奈川県箱根) (社団法人 科学技術と経営の会) 平成19年/2007年8月25日。
- 2) 「放射線・紫外・可視そして近赤外線による浮世絵版画に使用された着色料の非破壊分析」、単、2007年分析展・JAIMAコンファレンス「文化の奥深さを演出する分析技術」、(社団法人 日本分析機器工業会) 平成19年/2007年8月29日。

(文化財非破壊調査)

- 1) 「職人尽くし絵“糸職人”の三次元蛍光スペクトル非破壊分析調査」、単、2007年4月8日 (絵画保存研究所)。
- 2) 「第1次 (国内) 浮世絵版画“鳥居清長作品”現地非破壊分析調査」、共、2007年8月14日～18日 (山口県立萩美術館・浦上記念館)。
- 3) 「第2次 (海外) ボストン美術館所蔵スポルディング・コレクション“鳥居清長作品”現地非破壊分析調査」、共、2007年9月1日～16日 (米国ボストン美術館)。
- 4) 「第3次 (国内) 浮世絵版画“鳥居清長作品”現地非破壊分析調査」、共、2007年12月25日～29日 (山口県立萩美術館・浦上記念館)。

備考) 上記2)～4)に記載した現地非破壊分析調査は、(財)文化財保護・芸術研究助成財団ならびに(社)東京倶楽部の助成を得て実施した。

(展覧会)

- 1) 「日本の浮世絵版画」、共、開館5周年記念展“版画の世界—その歴史と技法—”(加計美術館) 2007年9月22日-10月28日。

(テレビ出演)

- 1) NHKスペシャル「歌麿 紫の謎」(NHKエデュケーショナル美術教養部) 2007年3月4日放映.
- 2) NHK新日曜美術館「これが江戸のヴィーナスだ～初めて明かされた鳥居清長の全貌～」2007年5月20日放映.

鈴木 英治 (すずき えいじ)

Ⅲ その他

(研究発表)

- 1) 「文化財保存修復研究」、共、2007年12月1日、吉備国際大学・学術フロンティアシンポジウム『学術フロンティア推進事業のこれまでとこれから』、キャンパスイノベーションセンター東京地区国際会議場
- 2) 「総合討論」、共、2007年12月1日、吉備国際大学・学術フロンティアシンポジウム『学術フロンティア事業のこれまでとこれから』、キャンパスイノベーションセンター東京地区国際会議場

高木 秀明 (たかぎ ひであき)

Ⅲ その他

(研究発表)

- 1) 「文化財科学調査研究」、共、2007年12月1日、吉備国際大学・学術フロンティアシンポジウム『学術フロンティア推進事業のこれまでとこれから』、キャンパスイノベーションセンター東京地区国際会議場
- 2) 「総合討論」、共、2007年12月1日、吉備国際大学・学術フロンティアシンポジウム『学術フロンティア事業のこれまでとこれから』、キャンパスイノベーションセンター東京地区国際会議場

馬場 秀雄 (ばば ひでお)

Ⅲ その他

(研究発表)

- 1) 「総合討論」、共、2007年12月1日、吉備国際大学・学術フロンティアシンポジウム『学術フロンティア事業のこれまでとこれから』、キャンパスイノベーションセンター東京地区国際会議場

(地域連携)

- 1) 吉備国際大学公開講座「座る文化と文化財」講演、2007年6月23日、高梁市総合福祉会館

(修復実績) ; 名称、単独・共同修復の別、修復期間、依頼機関

- 1) 文字図李朝様式屏風装、単、2007年8月～2007年12月、高麗美術館
- 2) 山水図 金正吾・権敦仁筆、単、2007年5月～2007年12月、高麗美術館
- 3) 現代日本画市原いずみ筆「たいくつな日々」修復、単、2007年6月～2007年12月、金沢美術工芸大学